0032420C
E763Z424G02
E763Z424H52

MITSUBISHI 三菱蛍光灯器具　取扱説明書

形名	５４W形	６１W形
	CPHF54036EL	CPHF61038E
	CPHF54033E	CPHF61038EL
	CPHF54033EL	CPHF61040E
	CPHF54037EL	CPHF61040EL
	CPHF54034E	CPHF61035E
	CPHF54034EL	CPHF61035EL
		CPHF61036E
		CPHF61033E
		CPHF61033EL
		CPHF61039E
		CPHF61039EL
		CPHF61041E
		CPHF61041EL
		CPHF61037EL
		CPHF61034E
		CPHF61034EL

製造会社 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41-2729　FAX (0467)41-2786

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

蛍光灯シーリング

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの「取扱説明書」を
使用者さまにお渡しください。

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして
ありがとうございました。

お客さまへ

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために
この「取扱説明書」を必ずお読みください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

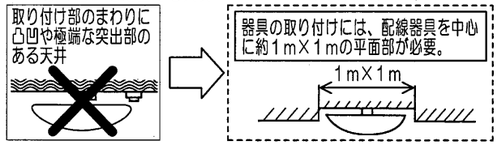
■安全のために必ずお守りください

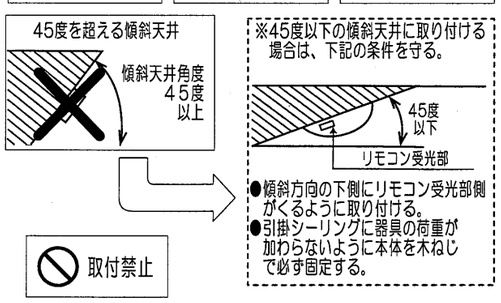
⚠ **警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

⚠ **注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

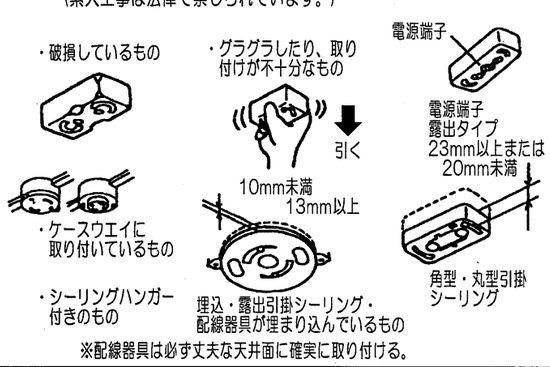
⚠ 警告

● 次のような、場所には取り付けない。
この器具は天井取付専用です。
指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、
取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因。





● 次のような、配線器具には取り付けない。
火災・感電・落下してけがの原因。
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼する。
(素人工事は法律で禁じられています。)



※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付ける。

● 器具を分解や改造したり、部品を変更しない。

改造	火災・感電・落下してけがの原因。

● 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かない。

可燃物	火災の原因。

⚠ 注意

● 屋外や湿気の多い場所で使用しない。

湿気禁止	この器具は非防水です。 火災・感電の原因。

● 温度の高い場所では使用しない。

高温禁止	暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しない。火災の原因。 この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

● 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらない。

接触禁止	高温になっています。 やけどの原因。

● 交流100V以外の電圧で使用しない。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因。
● 調光器が取り付けられている配線で使用しない。
火災の原因。
● 天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合あります。

● 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
● 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
● 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

E763Z424G02
E763Z424H52

■ランプの交換

● ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。
ランプ交換の際は、適合ランプをご使用ください。

■故障かな？と思ったら

症　状	確　認	処　置
ランプが点灯しない。	● 壁スイッチが切れていませんか？ ● ランプがソケットにきちんと挿入されていますか？ ● ランプが切れていませんか？	● 壁スイッチを入れてください。 ● ランプソケット部を確かめてください。 ● 新しいランプと交換してください。
【リモコン送信機は別売】 リモコンがきかない (器具の近くで操作してもきかない)	● 壁スイッチがOFFになっていませんか？ ● リモコンの電池が消耗していませんか？ ● 電池が正しく入っていますか？ ● 器具本体とリモコンのチャンネルが合っていますか？ ● 近くに別のインバータ器具や赤外線を発しているものがありませんか？ ● 送信機および受光部が汚れていませんか？	● 壁スイッチをONにしてください。 ● 新しい電池と交換してください。 ● 電池を正しく入れてください。 ● チャンネルを同じチャンネルにあわせてください。 ● 器具間を離すか他の器具をOFFして確認してください。 ● 汚れを拭きとってください。
なおリモコンがきかない	● リセット処置 壁スイッチでいったん電源を切る。	

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際、こんな症状はありませんか？
- コゲくさい臭いがする
- ランプを取りかえても正常に点灯しない
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる
- その他異常や故障がある

▶ ご使用中止　故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。

■仕様

器　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適　合　ラ　ン　プ
54W形	AC100V	50/60Hz共用	50W	約1W以下	FHC20　FHC34
61W形	AC100V	50/60Hz共用	56W	約1W以下	FHC27　FHC34

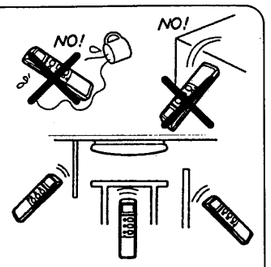
保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。
○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

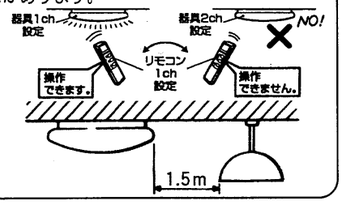
アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
○アフターサービスについてご不明な点(修理・取扱いのご相談)は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
1.修理のお問合わせは、「修理窓口」へ
フリーダイヤル (0120) 56-8634　インターネット www.melsc.co.jp
東日本修理受付センター ☎(03)3424-1111
西日本修理受付センター ☎(06)6454-3901
2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター　フリーコール (0120)139-365
東京都世田谷区池尻3-10-3　(03)3414-9655

■リモコン使用上のお願い



- リモコン送信機は当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコン送信機は照明器具の壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信機で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約１W以下の電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信機の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、照明器具が動作しない場合がありますのでその際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなる場合があります。
- リモコン送信機の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布で拭いてください。また、電池が消耗してくると動作しにくくなりますのでその際は新しい電池と交換してください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコン送信機で消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
- １つのリモコン送信機はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。２台の照明器具を１つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。
- リモコン送信機の組み合わせによって、常夜灯の明るさは６段階調光が可能です。



■故障ではありません

- 冬場など、周囲温度が低い時、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- カベコン機能で調光した場合、または器具が調光点灯状態の際に壁スイッチでOFFし、再び1.5秒以上後に壁スイッチをONにした場合、いったん全光点灯になった後、調光点灯になります。
- 器具が調光点灯状態で点灯する際には、いったん全光点灯になった後、調光点灯となります。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いいたします。
- リモコンの信号を受信すると、常夜灯がチラツク場合があります。

■ランプ寿命について

- **一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し常夜灯が点灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかにすべてのランプを交換してください。**
  (常夜灯をリモコンで調光している場合は、調光状態の明るさで点灯します。)

■お手入れのしかた

- 常に明るく安全に正しく使っていただくために、６ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

- 器具の汚れ(ホコリや虫など)は、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。
- 木や布セードのホコリは、ハケやブラシで落としてください。

(ご注意) ■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破損の原因となります。
■器具により天然素材の和紙を使用している製品があります。シワ・タルミがある場合はそのままご使用ください。和紙がへこんだ場合は、その部分に霧状の水をかけてください。乾燥することによって復元します。

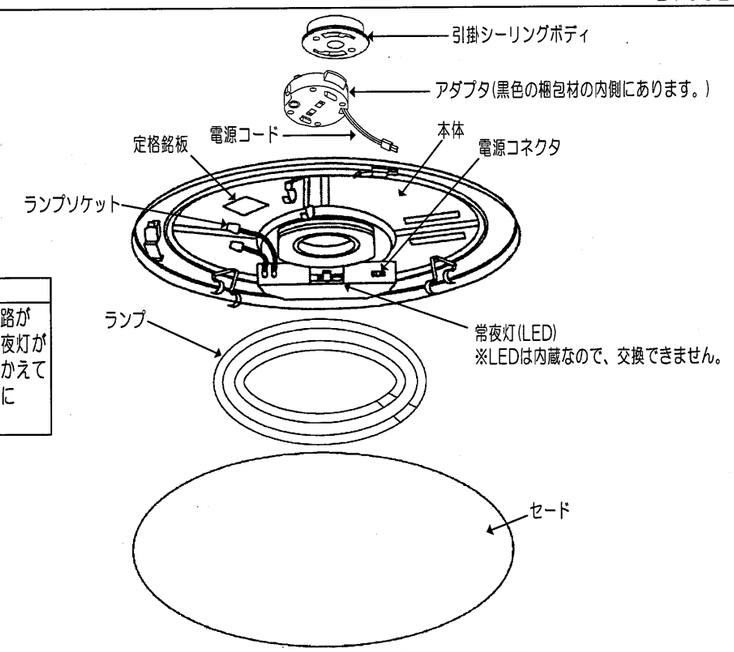
⚠ 注意	● ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因。

E763Z424G02
E763Z424H53

■各部のなまえ

● この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

- リモコン
- インバーター点灯方式
- プルレススイッチ機能搭載
- 虫の入りにくい構造

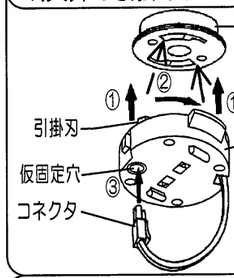


ランプ寿命について

- 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかにすべてのランプを交換してください。

■器具の取り付けかた (必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください)

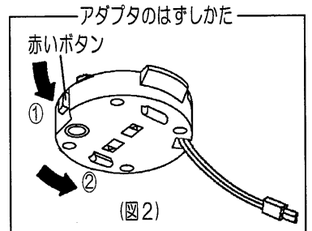
1.天井の引掛けシーリングボディにアダプタを取り付けてください。



(図1)

①引掛けシーリングボディへアダプタの二本の引掛刃を挿入します。(図1)
②“カチッ”と音がするまで右に回します。(図1)
③電源コネクタを仮固定穴に挿入します。(図1)

⚠ 注意
赤いボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因。



(図2)

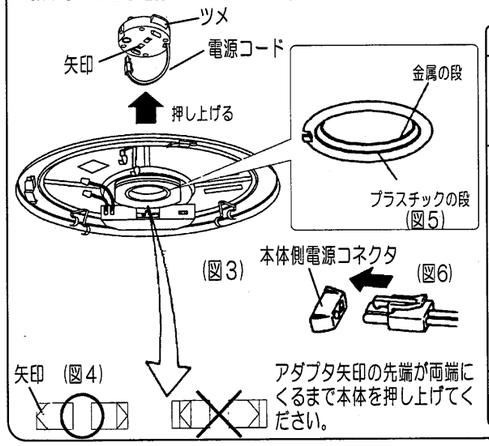
赤いボタンを押したまま左に回してください。(図2)

2.本体を取り付けてください。

注)器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)

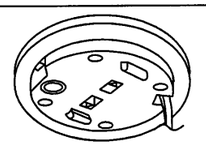
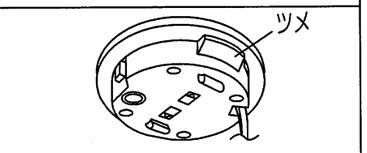
①本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置を合わせて本体をまっすぐに押し上げます。(図3)
②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。(図4)
③アダプタ電源コードのコネクタを本体側電源コネクタに差し込みます。抜けないことを確認してください。(図6)

⚠ 警告
● 器具本体は確実に取り付ける。取り付けが不完全な場合、落下してけがの原因。 ● 電源コネクタを差し込んだあとは、本体を回さない。本体を回すと電源コネクタが破損し、感電・火災の原因。



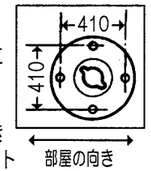
アダプタ矢印の先端が両端にくるまで本体を押し上げてください。

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに取り付けできます。

薄いタイプの場合 (高さ約11mm)	厚いタイプの場合 (高さ約22mm)
	
器具本体を１段階押し上げてアダプタのツメを金属の段に取り付けてください。(図5) ※アダプタのツメは見えません。	器具本体をアダプタのツメが両方見えるまで２段階押し上げてプラスチックの段に取り付けてください。(図5)

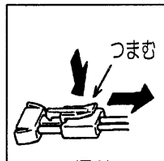
器具本体がガタガタしたり、簡単に回転する場合は、正しく取り付いていません。再度器具の取り付けを行ってください。

本体を取り付けた際、(図7)のノックアウトを部屋の向きと平行に合わせてください。
本体を取り付けた後、本体が安定しないときは(図7の)ノックアウトを利用して木ねじ(別売)でとめてください。

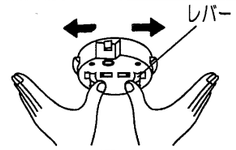


部屋の向き
(図7)

本体のはずしかた



(図8)



(図9)

アダプタのコネクタを電源コネクタからはずします。
コネクタをつまみながら引き抜いてください。 (図8)
両手で本体を上に押しながら中央にあるアダプタのレバーを矢印方向に押しながら本体をはずしてください。 (図9)
本体は必ず両手でおさえながらはずしてください。
本体をおさえないで本体をはずすと本体が落下してけがの原因となります。

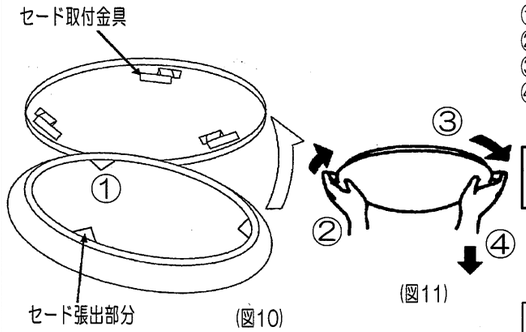
3.ランプを取り付けてください。

(1)本体に径の大きいランプから順に取り付けます。
①ランプをランプソケットの位置に合わせてランプホルダーにランプを取り付けます。(3箇所)
②ランプソケットをランプに取り付けます。

ランプのはずしかた
ランプ径の小さいランプからはずしてください。

⚠注意
ランプをソケットに確実に取り付ける。
取り付けが不十分な場合、点灯しなかったり火災の原因。

4.セードを取り付けてください。



(図10)

①セードの張出部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。(図10)
②セードを持ち上げます。(図10)
③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。(図11)
④セードを軽くを引っぱってはずれないことを確認してください。(図11)

(図11)

⚠注意
・取付け不完全は落下・けがの原因
・セードは丁寧に扱うこと。セードが割れてけがの原因

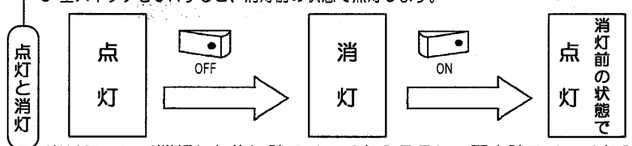
セードのはずしかた
“カチッ”と音がしたあとセードがとまるまで左に回してください。

■器具の使いかた

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

カベコン 機能 ・・・ この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。

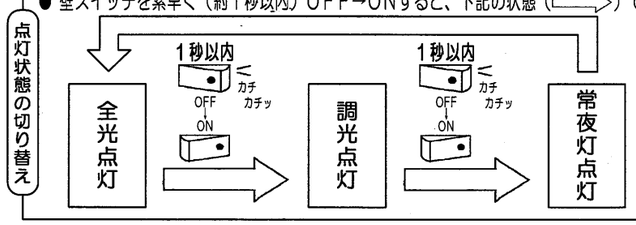
● 壁スイッチをONすると、消灯前の状態で点灯します。



調光でOFFすると、調光で点灯します。
常夜灯でOFFすると、常夜灯で点灯します。

※リモコンで消灯した後に壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONすると常夜灯点灯となります。
壁スイッチまたはリモコンで点灯状態を切り替えてください。
※調光で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONすると、いったん全光になった後、調光となります。

● 壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると、下記の状態(⟹)で切り替わります。

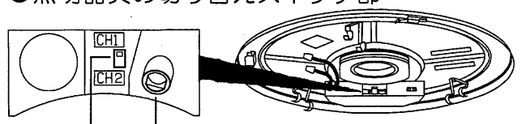


・1個の壁スイッチで2台以上のカベコン機能の器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。
・リモコンで消灯した場合、停電が発生した際、カベコン機能がはたらき、全光点灯などになることがあります。
・カベコン機能付き器具は、壁スイッチと併用してお使いください。
・カベコン機能により、壁スイッチで点灯を切り替えて常夜灯点灯にした際は、常夜灯の明るさがリモコンで調光した明るさとなります。

E763Z424G02
E763Z424H53

■器具の使いかた

●照明器具の切り替えスイッチ部



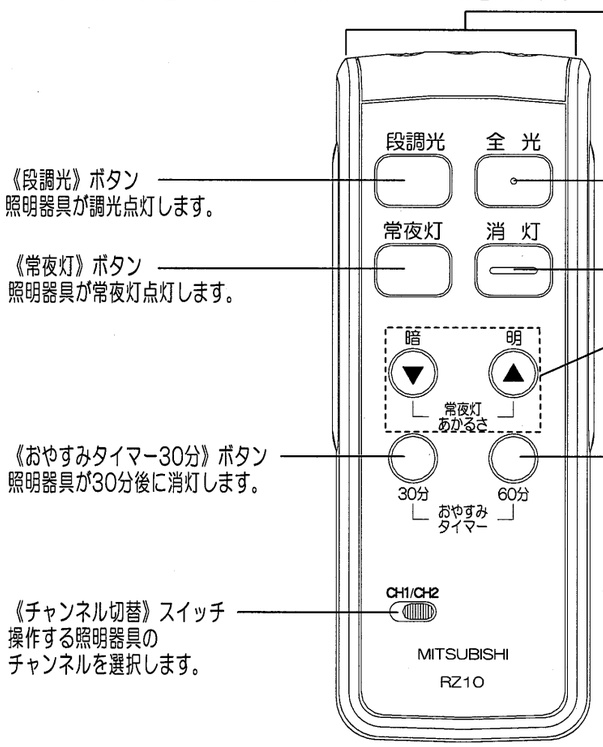
受光部
●リモコン送信機から出た赤外線を受信します。

チャンネル切替スイッチ
●当リモコン照明器具は2チャンネル方式です。このチャンネル1,2を送信器と同じチャンネルにしてご使用ください。

お願い
● 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は電源コネクタを一度はずし、取り付け直してください。)
● 2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信機で行えます。それぞれの照明器具のチャンネルをCH1・CH2と機別に設定した場合、リモコン送信機のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみ動作します。
※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。

■リモコンについて(リモコン送信機は別売です)

本商品の対応リモコン送信機は「ＲＺ１０」です。



●リモコン送信機の使い方はリモコン送信機(別売)の「取扱説明書」をご覧ください。

リモコンを使っての明るさ調整について

リモコン送信機の《全光》、《段調光》ボタンで通常ランプの明るさを変えることができます。
《常夜灯 あかるさ▼▲》ボタンで常夜灯の明るさを変えることができます。